

令和8年度 看護職員の負担軽減及び処遇の改善計画(令和7年度実施状況と評価含む)

社会医療法人 公徳会 佐藤病院

項目	職種	令和7年度 実施計画	令和7年度実施状況及び評価	達成度	令和8年度 実施計画(追加計画)	達成目標(時期)
看護職員と他職種の業務分担	①医療相談室	①24時間電話相談の対応、新患、再来予約及び入院時情報の共有、退院支援 ②医療・介護・福祉制度の説明、継続した関り	外来診療をスムーズに進められるよう外来で受け取った救急受診の調整を引き継いで対応した。 患者様やご家族のニーズに応じて情報を共有、対応方法を検討した。	①100% ②100%	①～②継続	令和9年3月
	②医事課	①入院手続き ②医療費などの対応 ③書類依頼 ④預かり物品・金銭管理継続と情報提供 ⑤診断書などの依頼申込業務	入院手続きを統一化し手続きの漏れをなくすよう病棟・相談室と連絡を取り行った。 預かり物品、診断書の申込み依頼業務は、マニュアルに沿って行った。	①100% ②100% ③100% ④100% ⑤100%	①～⑤継続	令和9年3月
	③検査科	①入院前の入院時検査実施の継続 ②現場で使用する検査キットの管理 ③採血の一部実施と職員検診時の各種検査の実施	入院時、入棟する前に採血を含めた各種検査を実施した。 検査キットの管理を行った。 職員検診の各検査を2階検査科フロアで実施した。	①100% ②100% ③100%	①～③継続 ④採血業務の拡大(デイケア等)	令和9年3月
	④作業療法	①身体リハビリを必要とする患者に対してリハ室までの移動を歩行訓練の一部として実施し安全なリハビリの実施ができる	歩行に必要なリハ機器の選択や見守りなど実施のポイントを情報提供し、リハビリの実施がスムーズに行うことができるよう対応した。	①100%	①継続 ②作業療法室の有効活用のため病棟活動を病棟内・リハビリ室使用を開始	令和9年3月
	⑤薬剤科	①持参薬の鑑別と一包化 ②持参薬管理と主治医の定期薬開始となる曜日を合わせて薬の払い出し ③監査済み処方薬の病棟への配送協力(業務状況による)	持参薬の鑑別・分包など作業は、その内容により長時間を要することが少なくないため、薬剤科における持参薬の受入れ時間を下記の通り変更し、双方における時間外勤務の削減に寄与した。 (月曜～木曜日):原則として16時までに薬剤科に到着した持参薬のみ対応。以降は翌日まで病棟管理する。 金曜日、長期連休前日(GW・お盆・年末年始):時間に関わらず業務時間内に薬剤科に到着した持参薬は全て対応する	①100% ②100% ③100%	①～③継続	令和9年3月
	⑥看護補助者	①具体的業務分担の継続 ②業務内容の見直しの更新と看護補助者業務マニュアルの改訂の実施 ③看護補助者の教育体制(必須項目含)の継続 ④看護補助者待遇・倫理研修の実施及び継続 ⑤感染症予防対策の継続	看護補助者の業務及びマニュアルの見直しを実施した。 看護補助者必須項目研修は滞りなく実施し、また、接遇及び倫理研修も看護と共に実施した。 感染対策は病院全体の感染対応を完全に見直しを行い看護補助者の対応や取り組みも見直し実施した。	①100% ②100% ③100% ④100% ⑤100%	①～⑤継続	令和9年3月
安定的な採用と定着促進	①人事及び教育	①継続的な求人の継続 ②継続的な看護学生への奨学金制度継続 ③年間計画に基づく教育関連の整備と充実を図る ④eラーニング研修個人視聴パスワードを全員に配布しどこでも視聴の継続 ⑤会議時間の短縮の継続 ⑥Web会議の継続とWeb研修の推奨(感染対策に伴う変更有) ⑦年間有給休暇5日以上必須取得継続	今年度は、看護師の定年退職を控えた職員も想定し継続した求人活動は必要である。 奨学金制度の利用者は今年度は0名のみであった。 教育研修では、通常研修参加とし、Webも利用した幅広い研修参加を可能としており今後も継続していく。 有休消化は問題なくクリアした。	① 80% ② 50% ③100% ④100% ⑤100% ⑥100% ⑦100%	①～⑤継続 ⑥通常研修とWebを両立参加 ⑦継続 ⑧病棟夜勤勤務者への手当のアップ	令和9年3月
子育て看護職員に対する配慮	①院内保育所利用推進	①院内保育所利用推進継続 ②育児休業明けの職員には院内保育所の案内	勤務職員が安心して働ける環境の提供は必須である。	①100% ②100%	①継続 ②継続	令和9年3月